

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援事業所みらい

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		療育支援を通して、日常生活における必要な動作の獲得や、社会性を育み、お子さんの発達を促します。また、療育支援の中で得たお子さんの発達特性や有効な支援について、こども園や地域、保護者と連携を図ることで、支援内容を共有します。					
支援方針		保護者やお子さんと一緒に個別支援計画を作成し、計画内容に基づいて支援を提供していきます。運動、言葉、気持ちの安定など様々な課題に対して、遊びを通して必要な支援を行います。また、個別、ペア、小集団支援とお子さんの発達に合わせた支援形態で療育支援を行います。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・支援を通して健康状態を確認します。 ・支援室の環境を整え、換気や、衣服の調節を促し、感染症等の予防や安全への配慮を行います。 ・排泄、衣服の着脱(ボタンやファスナーの取り組みなど)、遊びの中でのスプーンやフォーク、箸を使い、用具を操作するなど、お子さんの状態に応じて適切な支援を行い基本的な生活スキルの獲得を支援します。 ・楽しく活動に参加できるように、絵カードや写真などを使い取り組み内容を知らせるなど、見通しが持てるようお子さんに分かりやすく環境を整えます。					
	運動・感覚	・活動を通して、触覚、視覚、聴覚、固有覚、前庭覚など十分に活用できることで、活動を成功させ、粗大運動や微細運動など身体操作の獲得に繋がられるよう、お子さんの発達の合わせた遊びを提供し、支援します。					
	認知・行動	・見る、聞く、触れるなど、お子さんが活動の中で得られる情報を頼りに実行し、活動に参加できることで、状況把握やルール理解ができる力を育てます。 ・具体物や写真や絵カードを使い、物と名称を一致させたり、仲間集めなど通してカテゴリーなどの概念形成を育てる遊びを行い様々な知識を増やします。 ・支援を受けながらお子さんが特性に応じた目標を持つことで、気持ちの切り替えや適切な行動へ繋げ、集団活動に参加できるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	・大人や同年齢児との関わりの中で、伝えたい思いを持ち、言葉や動作で思いや考えを表出できるよう支援します。また、絵カードなど用いりながら物や体験と言葉の意味を結び付け、状況や思いに合った言葉の獲得ができるよう丁寧に支援していきます。					
	人間関係 社会性	・支援員との関係を築くことで安心して活動に参加でき、支援員を媒介としながら、同年齢児との関わりを持ち、模倣遊びや同じ遊びを共有し、社会性を育てます。 ・支援を受けながら、最後まで活動に参加できる経験を増やします。 ・活動のルールを理解し、仲間と一緒に活動に参加し、気持ちの共有を行えるよう支援します。					
家族支援		・保護者と懇談を行い、願いや思いを聞き個別支援計画を作成し、お子さんの発達課題を確認し、家庭での過ごし方やお子さんへの関わり方など助言を行います。また、就学・子育てに関する相談も随時受け付けています。 ・外部講師を招き保護者向けの学習会や相談会を開催(年1回)			移行支援	・入園、入学予定のこども園や小学校に、保護者の同意を得た引継ぎ書を作成し有効な支援を引き継いでいます。こども園への入園に関しては、保護者と一緒に実際に見学を行い、直接やり取りを行いながら保護者とこども園との関係を繋いでいきます。他市町村への転出の際も、引継ぎ文書を作成しています。	
地域支援・地域連携		・支援記録を保護者を通してこども園にも提出し、お子さんの様子や支援内容の共有を行っています。 ・園訪問やこども園の保育士と情報を共有し支援について検討する場を設け、お子さんの様子を共通理解しています。また、必要に応じて、療育支援の様子を見学していただき、支援について検討することもあります。			職員の質の向上	・岐阜県障害幼児研究会入会 ・西濃圏域療育スタッフ研修会、ケース検討会、希望が丘地域療育システム研修会など、様々な研修会に参加し、療育支援に活かせるよう質の向上へ繋げています。 ・公開療育を行い外部講師から支援についての助言を得ながら、検討会を行っています。	
主な行事等		・保護者学習会(年1回)、季節を感じる遊びの実施（屋外活動スペースでの水遊び、クリスマス会、お正月遊び、ひな祭り）、お楽しみ会 ・海津総合福祉会館ひまわりにて避難訓練の実施(年2回)、月1回の事業所での避難訓練					